

島根県立石見美術館

ファッションクリエイター・トレーニング・ワークショップ vol.2 「かたちをまとう」 特別展「THERIACA 服のかたち／体のかたち」の開催について

島根県立石見美術館では、このたび次世代育成を目的としたワークショップ、ファッションクリエイター・トレーニング・ワークショップ vol.2 「かたちをまとう」を実施いたします。

また、このワークショップに連動し、講師として招聘するデザイナー濱田明日香による展覧会、特別展「THERIACA 服のかたち／体のかたち」を開催いたします。

ご多用中のところと存じますが、取材方どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

◆ファッションクリエイター・トレーニング・ワークショップ vol.2 「かたちをまとう」

このワークショップは、ファッションの分野で創造性の高い活動を行う次世代の育成を目的とした事業であり、財団法人森英恵ファッション文化財団からの寄付金を活用した事業です。二回目となる今回はファッションデザイナーの濱田明日香を講師に迎えます。身の回りにある様々なものを見つめなおし、それに宿るユニークなかたちの発見や、発見したかたちを用いた衣服づくりを行います。制作行為を通し、参加者が、衣服と体の関係、ひいては「衣服とは何か」といった装いにまつわる根源的な事柄について考える機会となることを期待しています。

[内 容] 身の回りのものからかたちをとり、特定の動きをした際に面白いかたちに変化する衣服を制作し、コンセプトとともに提案する。

[日 時] 2018年7月28日(土) — 30日(月)の3日間 各日9:00~17:00

(参加者による作品発表と講師による品評会は30日午後を予定)

[会 場] スタジオ1、多目的ギャラリーなど(詳細はお問い合わせください)

[定 員] 20名 ※定員に達しました

[対 象] 高校生以上40歳未満の方

[参加費] 無料(ただし交通費や滞在にかかる費用は参加者負担)

[講 師] 濱田明日香(ファッションデザイナー)

京都市立芸術大学、ノヴァスコシア芸術大学(カナダ)にてテキスタイルデザインを勉強した後、デザイナーとしてアパレル企画に数年携わり、渡英。ロンドン・カレッジ・オブ・ファッションにてファッションとパターンについて研究し、2014年、在学中に自身のレーベル“THERIACA”をスタートした。2015年からはベルリンに拠点を移し活動を展開。実験的な手法を用いて流行や利便性、固定観念から距離を取りながら服の可能性をさぐっている。ギャラリーや美術館での展示、ショップでの販売に加え、書籍の発行など様々な方法にて作品を発表してきた。著書に『かたちの服』『大きな服を着る、小さな服を着る』『ピースワークの服』『甘い服』(すべて文化出版局)がある。

◆特別展「THERIACA 服のかたち／体のかたち」

ユニークなパターンとカッティングの美しさで注目を集める「THERIACA (テリアカ)」初の大規模展覧会です。「THERIACA」は、ベルリンを拠点に活動を展開するファッションデザイナー、濱田明日香によるファッションレーベル。丸や四角といった幾何学的な形状を服にしたコレクションを発表するなど、近年その実験的な手法から生み出される作品によりファンを増やしています。本展では「ひと」(原型*)からではなく、身の回りにある「もの」から形をとり、衣服に落とし込んだ新作や、一枚の大きな四角い布を様々に解釈し、衣服へと変容させた作品など、約 50 点を展示いたします。サイズやシルエットといった衣服の基本的な要素を問う濱田の作品は、洗練されている一方、どこかユニークでもあります。楽しさを提供しながら私たちに新たな衣服のあり方を提案するそうした作例を通し、服の可能性や面白さにあらためて出会う機会となれば幸いです。

*原型とは一般的に服を作るための土台となる型のこと

[会 期] 平成 30 年 7 月 27 日 (金) ～9 月 9 日 (日)

休館日：毎週火曜日 (ただし 8 月 14 日は開館)

開館時間：10:00～18:30 (最終入場 18:00)

[会 場] 島根県立石見美術館 展示室C (グラントワ内)

[イベント] オープニング・トーク

展覧会初日に、濱田明日香が本展に向け取り組んだ新作や、これまで発表した作品、それらの制作過程についてお話しします。

2018 年 7 月 27 日 (金) 14:30～

会場：展示室C 先着 50 名／無料 (展覧会観覧券またはミュージアムパスポートが必要)

※ 濱田明日香への取材も可能です。取材時間／トーク終了後 15:30 頃～16:30

THERIACA (テリアカ) 濱田明日香がロンドン・カレッジ・オブ・ファッション在学中に立ち上げたレーベル。万能解毒剤からとられた名前には、作品が人のコンディションをポジティブに転換する力となるようにとの願いが込められている。原型にとられないパターンが作り出すフォルムに定評があり、軽やかでありながらどこかユーモラスな作風は多くの人々の心をとらえてきた。



左：《Sofa/ソファー》、右：《Cushion/クッション》いずれも THERIACA 2018 年

Photo: Mizuki Kin, Hair & Make : Sayuri Sakairi